

令和6年度 **委員会だより**
第1回 子育て委員会編

NO. 1

北海道PTA連合会

6月29日(土)に第1回委員会が開催されました。その内容をお知らせします。

子育て委員会では、令和6年度、次のような内容で研究を進めていきます。

1 研究テーマ

(1) 全道統一スローガン 「今 こころ輝いて 親として 人として」

○子育てに奮闘する親の目指すべき姿として母親委員会発足時のH22年度から掲げている。

「こころ輝く親(人)」とは、

親として、人として生き生きと輝いて充実した生活を送ることを子育てに反映しようというおさえである。

*自分が生きてきた姿を子どもに誇りを持って見せることができる親でありたい。

*失敗や成功、悩みや悲しみ、苦勞を乗り越えてきた過程を、人生の先輩として語る
ことができる親でありたい。

(2) 今年度の研究テーマ 「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方」

○全道統一スローガンの趣旨を受けて、親の立場からよりよい子育てのために、育児に責任をもつ親としての心構えやあり方を追求するために親が願う子ども像を設定し掲げたテーマである。「豊かな心」は「生きる力」を育む中核をなすものである。

「豊かな心」をもつ子どもを育てる親とは

*誇りをもって子育てをする。

*親自身が喜びを感じながら生きている。(輝いている)

2 研究の視点

今日、グローバル化や情報化、少子高齢化など、社会環境はめまぐるしく変化している。都市化や核家族化はさらに進行し、価値観や倫理観、規範意識、家庭教育に関する考え方の多様化など、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化している。また新型コロナウイルス感染症により、行動制限が課された時期の様々な影響が、今後子どもたちにどのように現れるのか、また、「GIGA スクール」等をはじめ急速に進んだ子どもたちのICT機器の使用やSNSとの接し方など、高度化・複雑化する諸課題にも対応しなければならない。

そのような中で、子どもたちに「豊かな心」を持たせ「生きる力」を身につけさせるに

は、親自身も学び続け、生き方を子どもたちに示していくことが大切である。「親は人生最初の教師であり、教育の原点は家庭にあり」と言われるように、親は子どもにとって一番身近で深く関わる存在であり、基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、思いやりの心、善悪の判断など、「生きる力」の基礎的な資質や能力は家庭教育の中で培われる。親は子どもの行動や意識の形成に最も大きな影響力を及ぼすものであり、その責任は大きく、人生の先輩として重要な役割を担っている。予測不能な難しい時代をたくましく、そして健やかに生き抜く力を子どもたちに身につけさせるために、親が家庭内での協力関係を築くとともに、家庭・地域・学校が三位一体となって連携し、新しい時代の子育てに努めることが重要である。

そのため、本委員会は「PTAとして」「人生の先輩である大人として」子どもたちを取り巻く環境を丁寧に見取り、課題を把握し、共に学び合いながら解決に向けた取組を推進する。

また、子育てに関する情報の収集や発信、積極的な交流を図るために、今年度も道P連のHPを活用し、地区並びに単位PTAへ情報を継続的に発信・提供する発信源として活動の充実に努める。HP上にブロック各地での活動の様子等を調査しタイムリーに掲載し、情報の共有化や話題を広げる活動実践等の交流の場とする。地区P連事務局と連携を密にし、活動が見える、わかる、参加したいという実践を目指し、より主体的に子育てに関わることができるような活動を推進していく。

3 研究の内容

(1) 子育て委員会の活性化と組織の充実のあり方

- ① 各地区子育て委員会を組織化し、活性化させるための地区子育て研修会はどうあればよいか。
- ② 活動の目的や趣旨等の共通理解を図り、「活動を止めないPTA」をどのように促進するか。
- ③ 自ら学び、行動する親としての研修はどうあればよいか。
- ④ より参加しやすく、実態に応じたWEB型・集合型等、よりよい会議の開催をどう進めるか。
- ⑤ それぞれの実態に応じたスムーズな引き継ぎの在り方はどうあればよいか。
- ⑥ 子育て支援のため、自治体、教育委員会等関係機関や、学校、地域との連携はどうあればよいか。(福祉 教育支援センター 子ども食堂 学童等)

(2) 「生きる力」を育てる家庭教育のあり方

- ① 家庭の教育力をより高めるための研修はどうあればよいか。
- ② 家庭における食生活や食の安全はどうあればよいか。
- ③ 家庭における情報メディア・ネット等と子どもとの関わり方・活用はどうあればよいか。
- ④ 家庭と学校、家庭と地域社会の連携はどうあればよいか。

(3) 子育て委員会発の話題提供源としての広報活動

～「生きる力」を子どもたちへ伝えるための連携・発信をめざして～

- ① 道P連のHPを活用した継続的な情報発信の推進
- ② HPの周知と投稿や閲覧の呼びかけ、会員による活用の促進
- ③ 各地区の取組の情報共有化と参考資料の整備
- ④ 広報紙コンクール参加への呼びかけ推進

(4) 令和7年度提言に向けた取組の準備

- ① テーマの絞り込みや担当地区の決定
- ② 提言までの取組や計画の決定

4 研究推進日程

期 日	場 所	会 議	主 な 内 容
5/24(金)	道P連事務所	ブロック代表子育て委員予定者会	*子育て委員長の互選・活動計画の検討
6/8(土)	ホテルボール スター札幌	北海道PTA連合会定期総会	
6/29(土)	ホテルボール スター札幌	第1回子育て委員会	*本年度の活動の方向性の確認 *第2回までの依頼事項確認・意見交換
10/12(土)	ホテルボール スター札幌	第2回子育て委員会	*依頼事項の発表と意見交換 *R6年度まとめに向けての方向性の確認
12/7(土)	ホテルボール スター札幌	第3回子育て委員会	*R6年度まとめ *次年度の方向性,意見交換 *R7年度提言に向けての進捗状況確認

◎ 次の方々が道P連子育て委員会の研究を推進しています。

*下線___は、ブロック代表子育て委員 *丸数字はブロック (敬称略)

- 委員長 ④谷渕 友美(副会長・南空知)
- 副委員長 ②栴穀 恭子(副会長・上川南部)
- 教師代表 ○田中美由紀(江別市 校長)
- 委員 ①柿原 正美(石狩管内) ①高橋 梨絵(小樽市) ①瀬尾 康志(後志)
- ②秋庭 伸夫(上川北部) ②西田 望美(旭川市) ②笹田 武志(上川南部)
- ②池野奈穂美(稚内市) ②山田 朝美(宗谷管内) ②今井 彩佳(留萌管内)
- ③菅原 麗子(函館市) ③熊川 円(渡島) ③辻 友紀(檜山)
- ④阿部 哲(南空知) ④中野 善隆(北空知) ④高橋明日香(胆振東部)
- ④橋 邦彦(胆振西部) ④中野由加里(日高地区)
- ⑤林田 伸也(オホーツク東部地区) ⑤中村 光一(オホーツク中部地区)
- ⑤出倉明日香(オホーツク西部地区) ⑤福永 裕之(帯広市)
- ⑤浜名 克己(十勝管内) ⑤竹内由紀子(釧路市)
- ⑤増田 一真(釧路管内) ⑤渡辺 歩美(根室地方)

北海道PTA連合会事務局

〒060-0003 札幌市中央区北1条西3丁目 STV時計台通ビル6階

TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp